

## ✧ 海外ニュース ✧

アメリカ 2021年11月23日 CNN

### ■ より多くの国民を電気自動車の「革命」に巻き込むためのバイデン政権のインフラ投資計画

How Biden's infrastructure funding could push more Americans into the electric vehicle 'revolution'

米国環境保護庁によると、自動車生産台数のうち、電気自動車（BEV）とプラグインハイブリッド（PHV）の割合は、2020年はわずか2%だった。これらの普及が遅れている理由は、高価であることに加えて、充電インフラ不足が挙げられる。現在、公共の場所で利用できる電気自動車の充電器は約45,000台にすぎないことから、バイデン政権は50万台を増やすことを目標としている。

EU 2021年11月24日 LeFigaro

### ■ 新車の速度制限装置搭載がまもなく義務化

Un limiteur de vitesse bientôt obligatoire sur les voitures neuves

欧州連合（EU）は、速度超過違反に歯止めをかけたいと考えた。2022年7月1日より欧州で販売されるすべての新車に、自動速度抑制装置（ISA）の搭載が義務化される。欧州規則として11月17日に正式に採択された。この装置は、走行中の道路で許可されている最大速度と車両の速度をリアルタイムで比較して監視するもので、速度が超過した場合には2段階で作動する。第1段階では、運転手に対していくつかの警告音が発せられ、第2段階では、車両が最大速度を超えて走行を続けると、アクセルペダルが徐々に固くなり、強制的に速度を落とす仕組みだ。

イギリス（ロシア） 2021年11月25日 ITS International

### ■ モスクワでデジタルツイン導入

Digital twin coming to Moscow

モスクワで、標識、信号、横断歩道、駐停車場所など全道路設備を単一のデータベースに作成するため、デジタルツインが導入される。モスクワ交通管制センターは、設計段階であらゆる道路の変更を試すことができるように、8台の車を走行させ街路をデジタル化する。将来的には、デジタルツインにより、無人車両および車両とインフラ間（V2I）の接続システムの試験にデータを使用できるようになる。

アメリカ 2021年11月25日 KSTP

### ■ ミネソタ州交通局、橋の補修工事と州のコウモリの個体数の保護を両立させる技術を研究

MnDOT researches technology that combines bridge repairs with protecting the state's bat population

ミネソタ州交通局によると、補修工事が必要な橋の近くに音響装置を配置すると、コウモリが寄り付かなくなったという。「私たちがこの音を流し、コウモリの超音波信号の交信を妨害している間は、彼らは別の居場所を探します」と交通局の野生生物生態学者は語る。橋梁の補修作業が完了したのちに、装置を完全に取り除くこととなる。

イギリス 2021年11月26日 World Highways

### ■ マイルストーン、セメントを含まないコンクリートの開発試験に成功

Milestone uses cement-free concrete and fossil-free fuel in Oxbridge trials

マイルストーン・インフラストラクチャー社は、イングランド東部ケンブリッジで、セメントを含まないコンクリート材料の試験に成功した。一般的なコンクリートに含まれるセメントは製造工程で炭素を排出することから、製品にまったくセメントを使わない場合、環境に大きなメリットがある。

イギリス 2021年11月26日 ITS International

### ■ 自動車の隊列走行に果敢に挑むホリバ MIRA

Horiba Mira boldly goes for platooning

ホリバ MIRA 社は、欧州宇宙機関（ESA）と新しい自動車隊列走行技術の開発に取り組んでおり、2022年に模擬試験・物理試験を実施する予定である。同社によると、GNSS技術のパイオニアである GMV NSL 社とのプロジェクトでは、高速道路を走行する車の隊列化を自動的に実施することにより、スロットルやブレーキのプロファイルを最適化して、乗客がよりスムーズな乗り心地を楽しめるようになるとともに、車両の効率が向上して排出ガスが削減されるという。

ドイツ 2021年11月29日 連邦交通・デジタルインフラ省

### ■ フェーマルン・ベルトトンネル、ドイツ側で工事開始

Baustart für den Fehmarnbelt-Tunnel in Deutschland

欧州委員会におけるスカンジナビア—地中海回廊のコーディネーターであり、長年にわたって本プロジェクトを支援してきたパット・コックス氏は、着工式の場に出席することはできなかったが、以下の祝辞を送った。「EUにとって、これは汎欧州運輸ネットワーク（TEN-T）の利点を内外に示すプロジェクトであり、スカンジナビアとドイツ、さらには地中海地域との間に欠けている、国境を越えた重要な接続路を作り上げるものです。」

2029年以降、長さ18kmのフェーマルン・ベルトトンネルを電車は7分、車は10分で通過できる。

ドイツ 2021年11月30日 連邦道路交通研究所（BASt）

### ■ ロボット道路工事 4.0

ROBOT-Straßenbau 4.0

BAStでは、『ロボット道路工事4.0』研究プロジェクトを実施しており、作業と交通の安全を向上させ、工事関係者の現場での負担を軽減することを目標としている。これを達成するには、道路建設機械の、すべての作業機能の自動化が必要であり、すなわち将来的には機械のオペレーターの制御下でのみ、ネットワーク化された自律的な方法で動作できるようになることを目指している。

イギリス（スペイン） 2021年11月30日 ITS International

### ■ アベルティス、スペインの低排出ゾーン（LEZ）計画の展開を支援する技術を提供

Abertis helps Spain roll out LEZ projects

スペインの新しい『2050年気候変動法：長期国家戦略の基礎と提案』では、人口5万人以上の全都市に2023年までに環境規制区域の設置を求めている。LEZ 施行支援システムは、道路脇のカメラなどの機器と中央ITシステムを対象としている。サービスには、意思決定者が適切な大気質とするための戦略実施に役立つ交通と汚染の予測データが含まれる。

イギリス（ベルギー） 2021年12月1日 Traffic Technology Today

### ■ ベルギーのヘント市がスマート駐車システム導入へ

New, real-time smart parking system for Ghent, Belgium

ヘント市では、環状道路4号線の外側に、デジタルサイネージを設置し、駐車場空き状況とリアルタイムの移動時間に基づき最適な駐車場を提示することに加え、事前にどの駐車場が満車なのかや重大な渋滞などの交通情報を自動的に提供している。これによりドライバーが、郊外の駐車場やパークアンドライドを利用することを、より迅速に決めることができるため、市内への不要な流入交通量を抑えることができる。

アメリカ 2021年12月7日 The Hill

## ■ 電力会社連合が共同 EV 充電網を発表

Utilities announce collaborative electric vehicle charging network

数十社による米国の電力会社連合『National Electric Highway Coalition』は、全国の主要幹線道路沿いに2023年までに充電機器を設置することを目標に、EV 充電網構築で協力する計画を12月7日に発表した。同電力会社連合は、エジソン電気協会（EEI）に加盟する51社と、Midwest Energy 社、テネシー川流域開発公社で構成される。

ドイツ 2021年12月8日 Verkehrs Rundschau オンライン版

## ■ 初のドローン交通システム『U-Space』の実験が終了

Tests des ersten Drohnenverkehrssystem U-Space abgeschlossen

EU の U-Space 構想は、ハンブルクで行われた実証実験が終了し、実際に機能することが確認できた。将来的な U-Space 実現に向け、今回のプロジェクトから得られる行動推奨案について、この実証試験を支援する連邦交通省が現在内容を検討しており、来年には公表する予定である。なお、実地試験は Droniq 社とドイツ航空管制会社（DFS）が実施した。EU の U-Space 令は2023年初頭に国内法化される見込みである。

ドイツ 2021年12月9日 Frankfurter Allgemeine Zeitung オンライン版

## ■ 初の承認：メルセデスが高度自動運転を提供可能に

Als erster Autohersteller : Mercedes darf hochautomatisiertes Fahren anbieten

ドイツ連邦自動車局（KBA）は本日、メルセデスのSクラスに対して自動車線保持システムの搭載を世界で初めて承認した。この新機能によって、アウトバーンの特定区間での渋滞時などに運転を車両に任せることが可能になる。自動運転は時速60kmまで可能である。ドライバーは特定の条件下で映画やインターネットを見ることができる。システムを使用できるのは、アウトバーンで交通量が多い場合と渋滞時に限られる。KBAによると、ドライバーはシステムの要求に応じていつでも操縦に戻れる状態にしなければならない。

カナダ（日本） 2021年12月12日 BNN Bloomberg

## ■ 電池技術の先駆者が、EV が電力網に電力を供給すれば環境保全に役立つと提案

Battery Pioneer Suggests Letting EVs Power the Grid to Go Green

リチウムイオン技術開発でノーベル賞を受賞した吉野彰氏によると、EV を駐車時に電力網への電力供給に利用できれば、日本のような国にとってよりクリーンなエネルギーの選択肢が増えるという。「再生エネルギーの電力源としての普及には、蓄電システムが必要だが、新たにシステムを整備することは費用対効果が低い。その点、EV は稼働していないときには蓄電システムとして利用できる」

ドイツ 2021年12月13日 Verkehrs Rundschau オンライン版

## ■ バーデン＝ヴュルテンベルク州、「誰もが水素事業への参画を望んでいる」

Baden-Württemberg : Alle wollen was mit Wasserstoff machen

バーデン＝ヴュルテンベルク州が水素インフラの拡充を推し進めようとしている。「水素技術は実用化に向けた準備が整い、今度は政治が適切な枠組み条件を定める番だ」と、専門家たちは求めている。州の環境省は、最大16,000名の雇用が創出され、2030年には90億ユーロの売上高が得られると見込んでいる。ただし水素の製造は、十分な再生エネルギーによる電力が得られるドイツ北部や南ヨーロッパ、北アフリカ、さらにオーストラリアで行われ、各地で製造された水素をその後ドイツに運ぶことになる。他方で水素技術は輸出が期待されている。

アメリカ 2021年12月14日 AP通信

### ■ ハリス副大統領がEV充電網計画を発表

Harris unveils plan for electric vehicle charging network

バイデン政権は、米国の自動車産業の変革を目的として、全国に電気自動車用の50万台の充電ステーションを建設し、電気自動車の利用コストを削減するという野心的な戦略を12月13日に発表した。なお、現在上院で議論が交わされている2兆ドルの社会・環境政策法案には、電気自動車の購入に伴う7,500ドルを上限とする税額控除が含まれている。

ドイツ 2021年12月16日 Zeitオンライン版

### ■ アウトバーン会社、橋梁の改築に注力

Autobahngesellschaft will verstärkt Brücken sanieren

アウトバーン会社は、橋梁改築工事を年間200件から400件に倍増させることを計画している。同社によると、ドイツ国内に存在するアウトバーンにおける橋梁28,000基の約半数が1960～80年代に建てられたもので、交通量は80年代初頭からほぼ倍増している。従って、状況を改善するため、同社の開業初年となる2021年は、連邦幹線道路の維持と拡充に49億2,000万ユーロが投資されたものの、工事費用の増大、ITシステム導入の遅れなど、批判がたびたび繰り返されていた。

イギリス 2021年12月16日 Traffic Technology Today

### ■ ロンドンにおける週末の混雑課金がコロナ対応として恒久化

Weekend London Congestion Charge made permanent to fight Covid congestion

ロンドンにおける週末の混雑課金は、2022年2月21日以降、平日は7:00～18:00に行われ、18:00以降は無料となる。また週末と祝日は12:00～18:00に課金される。料金は、15ポンドで維持される。

パンデミック前と比較すると、平日は課金対象時間がパンデミック前と同じとなった一方で、休日に関しては、パンデミック前には週末の課金はなかったが残ることとなった。なお、料金は11.50ポンドから上昇している。

フランス 2021年12月17日 Vinci

### ■ ヴァンシ、ストラスブール西バイパス(A355)の運用を開始

VINCI met en service le Contournement Ouest de Strasbourg (A355)

VINCI Autoroutes社は、総額5億6,100万ユーロの資金を調達し、54年間のコンセッション契約に基づき、バ＝ラン県のストラスブール西バイパス(A355号線)の運用を12月17日に開始した。2008年1月に承認されたこの長さ24kmのインフラは、近年のフランスにおける最大級の高速道路プロジェクトである。環境対策は1億3,000万ユーロが充てられており、例えば130カ所に野生動物用の横断歩道が建設された。

イギリス(EU) 2021年12月17日 Traffic Technology Today

### ■ 欧州運輸安全協議会がEUの事故調査機関の重要性を強調

European Transport Safety Council stresses importance of EU crash investigation authority

欧州運輸安全協議会は、自動運転車が関与する道路での衝突事故の法医学分析を実施する調査機関をEU内に設立するよう要請を繰り返している。この要請は、ドイツのアウトバーンを最高時速60kmで自動運転できるシステムである『ドライブパイロット』の発売に関するメルセデス・ベンツの発表を受けて行われたものだ。